

# 群馬大学・東海連合支部・総会の前夜祭

(栗原優先生(東レ(株)フェロー)、小松原建夫群馬大学工業会副理事長を囲む会)

日時：2012年11月17日(土) 18:00 - 20:30

場所：名古屋駅前「嘉文」

海水淡水化膜の世界的リーダーであります栗原先生と桐生から来られた小松原副理事長と一緒に飲めるとあって喜んで参加させて頂いた。人数の制限もあって愛知支部の役員5人と三重支部役員3名が参加した。小生が嘉文についた時には、既に栗原先生、小松原さん、三浦さん、佐藤さん、阿部さん、矢崎さんは既に来ておられた。生ビールで乾杯した後、話が始まった。少し後から森下さん、石川さんが来られた。栗原先生は、東レ時代に米国の大学で学んだ経緯、大学のあり方、学生時代の過ごし方、38歳の時代の松井研究室の状況等について話を頂いた。

幾つかお話頂いた中で、特に記憶に残ったのは、

- 1) 大学時代は、勉強ばかりしていないで、遊んで人間の幅を広げた人の方が出世している。
- 2) 東海連合支部長の石川さんからも出た「人間力」が地方大学出身者には必要。

71歳の年にもかかわらず、元気、エネルギッシュで当分現役の仕事は辞められそうになかった。尊敬の念持つと同時に、うらやましい存在であります。小松原さんからは、北関東産官学研究会の状況や、三洋電機勤務時代に東海地区の東海ゴムや東レには仕事上お世話になった事、工業会の現状等をお聞きしました。

今回は若い人の参加はなかったが、社会で活躍されている(された)先輩のお話を聞くことは、各自の今後の人生の生き方にも大変参考になると思うので、仕事は忙しくても工業会活動にも時間を割いて頂き、積極的に参加して頂ければと思いました。



参加者：(嘉文での写真)前列左から小松原副理事長(S43C)、石川東海連合支部長(S39C)、栗原優先生(東レ(株)フェロー、S38C)、矢崎高雄さん(三重支部、S41S)、後列左から三浦東海連合副支部長(S39)、阿部敬三さん(三重支部、S46S)、清水堪蔵(S49C)

\* 佐藤佐三重支部長(S39S)、森下克司事務局(S43C)は先に退席されました。

記：清水堪蔵(S49C)